



日本災害情報学会 日本災害復興学会 合同大会 in 長岡



—アオーレ長岡—

10月23日(木)	エクスカーション
10月24日(金)	
9:00	受付開始
9:45~	開会式
10:00~12:00	[復興] 分科会・オーガナイズドセッション
13:30~15:30	[復興] 分科会・オーガナイズドセッション
16:00~17:30	[復興] 全体会議
18:00~20:00	ナイトセッション
10月25日(土)	
8:30	受付開始
9:15~12:00	[復興・情報] 口頭発表
12:00~13:30	[復興・情報] ポスターセッション
13:30~17:00	[復興・情報] 公開シンポジウム
18:00~20:00	[復興・情報] 交流会
10月26日(日)	
8:30	受付開始
9:00~11:45	[情報] 口頭発表
12:30~13:20	[情報] 総会
13:20~13:40	[情報] 廣井賞表彰式
13:40~14:00	[情報] 阿部賞、河田賞表彰式
14:15~17:30	[情報] 口頭発表

会場：アオーレ長岡

A会場：市民交流ホールA C会場：市民交流ホールC

B会場：市民交流ホールB D会場：協働ルーム ※「市民交流ホールD」ではありません。

参加費：参加費(4日間共通) 2,000円 交流会費 4,000円

日本災害情報学会予稿集 2,000円 日本災害復興学会予稿集 2,000円

交流会場：ホテルニューオータニ長岡

10月23日(木)

エクスカーション

【A. 山古志コース】

13:00 きおくみらい集合・出発 被災地視察・追悼行事参加 他

【B. 川口・小千谷コース】

14:00 きおくみらい集合・施設見学

14:30 きおくみらい出発 被災地視察・追悼行事参加 他

タイムテーブル

10月24日(金)	A会場 (市民交流ホールA)	B会場 (市民交流ホールB)	C会場 (市民交流ホールC)	D会場 (協働ルーム)
10:00~12:00		【10:00~12:00】 [復興] オガナイドセッション1 災害への法的対応の論点—法理論と実務の視角から 【12:30~14:00】 [復興] オガナイドセッション2 中山間地における住民主体の復興と外部者:中越地震・小千谷市塩谷集落の事例より	[復興] 分科会A 復興人材を考えるⅢ (コーディネータ:宮本匠)	[復興] 分科会B 震災学習とそのための手法の構築—東北・中越・阪神の比較より(コーディネータ:阪本真由美)
13:30~15:30		【14:10~15:40】 [復興] オガナイドセッション3 災害復興過程における地域社会経済的資源の役割:岩手県野田村のケーススタディー	[復興] 分科会C これからの復興情報を考える (コーディネータ:山崎栄一)	[復興] 分科会D 集落復興に必要な視点を考える(コーディネータ:福留邦洋)
16:00~17:30	全体会議			
18:00~20:00	ナイトセッション「これからの災害研究を考える」			

10月25日(土)	A会場 (市民交流ホールA)	B会場 (市民交流ホールB)	C会場 (市民交流ホールC)	D会場 (協働ルーム)
9:15~10:30	A1 合同セッション 東日本大震災 (座長 中林一樹)	B1 合同セッション 災害報道・メディア (座長 中森広道)	C1 [復興] 支援・受援 (座長 天野和彦)	D1 [情報] BCP・企業防災 (座長 加村邦茂)
10:45~12:00	A2 合同セッション 東日本大震災 (座長 廣井 悠)	B2 合同セッション 福島原発事故 (座長 関谷直也)	C2 [復興] 教育・教訓・継承(1) (座長 阪本真由美)	D2 [情報] システム (座長 鈴木猛康)
12:00~13:30	ポスターセッション			
13:30~14:45	【会場:アオーレ長岡アリーナ】 公開シンポジウムⅠ 中越大震災と復興情報~情報伝達の進歩と新たな課題			
15:05~17:00	【会場:アオーレ長岡アリーナ】 公開シンポジウムⅡ 中越から東日本大震災へ~新たに見えてきた復興推進の課題			

10月26日(日)	A会場 (市民交流ホールA)	B会場 (市民交流ホールB)	C会場 (市民交流ホールC)	D会場 (協働ルーム)
9:00~10:15	A3 [情報] 気象・水害(1) (座長 大原美保)		C3 [情報] 教育・教訓・継承(2) (座長 金井昌信)	D3 [情報] 調査・統計・解析 (座長 矢守克也)
10:30~11:45	A4 [情報] 地域防災(1) (座長 永松伸吾)		C4 [情報] 教育・教訓・継承(3) (座長 定池祐季)	D4 [情報] 津波・地震(1) (座長 及川康)
12:30~14:00	総会、廣井賞授賞式、阿部賞・河田賞授賞式			
14:15~15:45	A5 [情報] 気象・水害(2) (座長 牛山素行)		C5 [情報] 教育・教訓・継承(4) (座長 秦康範)	D5 [情報] 津波・地震(2) (座長 鷹野澄)
16:00~17:30	A6 [情報] 地域防災(2) (座長 鍵屋一)		C6 [情報] 教育・教訓・継承(5) (座長 近藤誠司)	D6 [情報] 衛星・通信・地理情報 (座長 横田崇)

10月24日(金) 10:00~12:00

[復興] 分科会 A 復興人材を考えるⅢ (C会場)

阿部 巧(中越防災安全推進機構復興デザインセンター)
石塚 直樹(せんだい・みやぎ NPO センター みやぎ連携復興センター)
金子 知也(中越防災安全推進機構復興デザインセンター)
西澤 卓也(山の暮らし再生機構)
山口 里美(RCF 復興支援チーム)
コーディネーター: 宮本 匠(京都大学防災研究所 特定研究員)

[復興] 分科会 B 震災学習とそのための手法の構築・東北・中越・阪神の比較より(D会場)

佐藤 翔輔(東北大学災害科学国際研究所)
山崎麻里子(長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」)
阪本真由美(名古屋大学減災連携研究センター)
石原 凌河(大阪府立大学地域連携研究機構)
吉原 大志(人と防災未来センター)
山口 洋典(立命館大学サービスラーニングセンター)
高森 順子(大阪大学大学院人間科学研究科)
コーディネーター: 阪本真由美(名古屋大学減災連携研究センター)

[復興] オーガナイズドセッション1 (B会場) 災害への法的対応の論点ー法理論と実務の視角から

- 0-1 災害への法的対応の論点ー法理論と実務の視角からー
飯 孝行(専修大学法学部)
- 0-2 東日本大震災における私権の補償問題ーアチェ・四川・フィリピンとの対比からー
金子 由芳(神戸大学大学院国際協力研究科)
- 0-3 阪神・淡路大震災時の法実務の対応と課題
津久井 進(弁護士)
- 0-4 実務法律家による災害対応の課題ー東日本大震災の経験を踏まえてー
瀧上 明(東京弁護士会)
- 0-5 実務法律家による災害対応の課題ー南海トラフ大地震を念頭にー
堀井 秀知(徳島弁護士会)
- 0-6 復興事業中における生活再建に関する葛藤ー東日本大震災後の石巻市雄勝町における防災集団移転促進事業を事例として
宮定 章(地域復興支援ワンストップサービス石巻センター)

10月24日(金) 13:30~15:30

[復興] 分科会C これからの復興情報を考える (C会場)

佐々木晶二(民間都市開発推進機構都市研究センター,
前内閣府大臣官房審議官(防災担当)兼災害対策法制企画室長)
佐野 哲史(一般社団法人復興応援団代表理事, みやぎ連携復興センター元事務局長)
中森 広道(日本大学文理学部社会学科教授)
頼金 大輔(福島県総務部文書法務課主幹(法務担当), 弁護士)
コーディネーター: 山崎 栄一(関西大学社会安全学部准教授)

[復興] 分科会D 集落復興に必要な視点を考える (D会場)

宮定 章(特定非営利活動法人まち・コミュニケーション代表理事, 復興大学コーディネーター)
田仲 聡(専修大学人間社会学部助手博士後期課程)
松原 久(東北大学文学部博士前期課程)
藤室 玲治(東北大学ボランティア支援室特任准教授)
コメンテーター: 田口 太郎(徳島大学総合科学部准教授)
コーディネーター: 福留 邦洋(東北工業大学安全安心生活デザイン学科准教授)

[復興] オーガナイズドセッション2 12:30~14:00 (B会場)

中山間地における住民主体の復興と外部者: 中越地震・小千谷市塩谷集落の事例より

- 0-7 塩谷集落の10年ー長期的フィールドワークの中間報告ー
渥美 公秀(大阪大学大学院人間科学研究科)
- 0-8 「過疎」集落における「復興」に関する一考察ー新潟県中越地震から10年を迎えてー
崎浜公之(大阪大学大学院人間科学研究科) 渥美公秀(大阪大学大学院人間科学研究科) 関嘉寛(関西学院大学社会学部)
- 0-9 復興過程を学ぶインターンシップを通して
五味 希(東京工業大学大学院社会理工学研究科)
- 0-10 小千谷市東山地区における軸ずらしと実践ー東山地区と塩谷集落との関係に注目してー
渡邊 敬逸(人と防災未来センター)
- 0-11 塩谷のこれからー集落の復興について
関 嘉寛(関西学院大学社会学部) 渥美公秀(大阪大学大学院人間科学研究科)
- 0-12 災害復興における大都市の同郷会の役割ー「野田はまなす会」を事例としてー
山口 恵子(東京学芸大学教育学部)

[復興] オーガナイズドセッション3 14:10~15:40 (B会場)

災害復興過程における地域社会経済的資源の役割: 岩手県野田村のケーススタディー

- 0-13 岩手県野田村復興まちづくりシャレットワークショップー地元の方と一緒に復興を考える行為の可能性ー
市古 太郎(首都大学東京都市システム科学域) 玉川英則(首都大学東京都市システム科学域)
野澤 康(工学院大学建築学部) 河村信治(八戸工業高等専門学校)
- 0-14 震災前後の道の駅に対する住民の認識と役割の変化に関する研究ー岩手県野田村・道の駅「のだ」の事例ー
野澤 康(工学院大学建築学部) 田鎖潤一郎(前田建設工業株式会社)
- 0-15 野田村の市日ー震災と地域文化・商活動ー
小谷田文彦(弘前大学人文学部)
- 0-16 野田村の復興にかかる法的施策の実現過程ー村内外の資源活用のあり方ー
飯 孝行(専修大学法学部)

10月24日(金) 16:00~17:30

全体会議 (A会場)

10月24日(金) 18:00~20:00

ナイトセッション「これからの災害研究を考える」(A会場)

10月25日(土) 9:15~10:30

A1 [合同セッション] 東日本大震災Ⅰ (A会場 座長: 中林一樹)

- A-1-1 [復興]第3回復興定点調査にみる住民主体の復興—復興への住民関与の現状と課題—
○ 小林 秀行(東京大学大学院学際情報学府)
田中 淳(東京大学情報学環総合防災情報研究センター)
藁谷峻太郎(サーベイリサーチセンター)
岩崎 雅宏(サーベイリサーチセンター)
石川 俊之(サーベイリサーチセンター)
- A-1-2 [復興]第3 回定点調査 定量的調査結果からみえる被災地の復興
○ 藁谷峻太郎(サーベイリサーチセンター)
石川 俊之(サーベイリサーチセンター)
岩崎 雅宏(サーベイリサーチセンター)
田中 淳(東京大学情報学環総合防災情報研究センター)
小林 秀行(東京大学大学院学際情報学府)
- A-1-3 [情報]東北地方太平洋沖地震の建物被害情報データベースの構築
○ 門馬 直一(パスコ)
藤原 広行(防災科学技術研究所)
中村 洋光(防災科学技術研究所)
下村 博之(パスコ)
岡部 隆宏(パスコ)
藤澤 誠二(パスコ)
- A-1-4 [復興]東日本大震災津波被災者の生活復興感および生活事項回復感の変遷—2012年から2014年—
○ 中林 一樹(明治大学大学院)
土屋 依子(明治大学研究・知財戦略機構)
小田切利栄(明治大学研究・知財戦略機構)

B1 [合同セッション] 災害報道・メディア (B会場 座長: 中森広道)

- B-1-1 [情報]計画と報道の長時間軸での検証—長崎豪雨災害32年で見えてきた課題—
○ 佐藤 年緒(科学ジャーナリスト)
- B-1-2 [情報]「発信」+「収集」も 自治体ツイッターの新展望
—自治体の“つぶやき”から 災害情報伝達手段としての適性を探る 4—
○ 福島 隆史(TBSテレビ報道局)
- B-1-3 [復興]震災漫画のポテンシャルに関する考察—東日本大震災を例に—
○ 近藤 誠司(関西大学社会安全学部)
- B-1-4 [情報]調査にみる災害報道に対する人々の評価とその回顧—「新潟地震」から「東日本大震災」まで—
○ 中森 広道(日本大学文理学部)

C1 [復興] 支援・受援 (C会場 座長: 天野和彦)

- C-1-1 [復興]被災地における地域福祉コーディネーターの実践
○ 大島 隆代(浦和大学総合福祉学部)
- C-1-2 [復興]被災者支援の閉じ方—東日本大震災ボランティアバックアップセンターを例に—
○ 諸橋 和行(中越防災安全推進機構 地域防災力センター)
- C-1-3 [復興]新潟県中越大地震復興まちづくりにおける「地域復興支援員」の取組み
○ 田口 太郎(徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部)
阿部 巧(中越防災安全推進機構 復興デザインセンター)
金子 知也(中越防災安全推進機構 復興デザインセンター)
- C-1-4 [復興]「震災関連死をどのように防ぐか」—ICTを活用した対策支援ツールの開発について—
○ 天野 和彦(福島大学つくしまふくしま未来支援センター)

D1 [情報] BCP・企業防災 (D会場 座長：加村邦茂)

- D-1-1 [情報]自治体における震災時BCPの波及に関する一考察
- 山下 博之(日本防火・危機管理促進協会)
 - 宮脇 健(日本大学法学部)
 - 福田 充(日本大学法学部)
- D-1-2 [情報]化学物質を取り扱う事業者の地域とのリスクコミュニケーションに対する東日本大震災の影響
- 竹田 宜人(製品評価技術基盤機構化学物質管理センター 横浜国立大学環境情報学府)
- D-1-3 [情報]災害警戒フェーズ変更時の金融機関における 応答パフォーマンスに関する研究
- 佐柳 恭威(名古屋工業大学大学院工学研究科)
 - 渡辺 研司(名古屋工業大学工学部大学院)
- D-1-4 [情報]利根川上流域における企業水防災の現状と課題
- 加村 邦茂(環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所)
 - 作間 敦(環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所)
 - 池永 美絵(環境防災総合政策研究機構 東京事務所)

10月25日(土) 10:45~12:00

A2 [合同セッション] 東日本大震災Ⅱ (A会場 座長：廣井悠)

- A-2-1 [復興]東日本大震災の仮設住宅入居者の社会経済状況の変化
—被災1・3年後の仙台市みなし仮設住宅入居世帯調査の比較から—
- 菅野 拓(人と防災未来センター)
- A-2-2 [復興]岩手県宮古市重茂半島における漁業復興感の変遷に関する研究—音部・重茂漁港を事例として—
- 坪井塑太郎(日本大学理工学部)
- A-2-3 [情報]『絆』の意味—二つの震災の心理的結節
- 雨盛 詢(東海東京証券)
 - 関谷 直也(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- A-2-4 [情報]東日本大震災時に発生した地震火災に関する質問紙調査
- 廣井 悠(名古屋大学減災連携研究センター)
 - 岩見 達也(建築研究所)
 - 北後 明彦(神戸大学都市安全研究センター)

B2 [合同セッション] 福島原発事故 (B会場 座長：関谷直也)

- B-2-1 [情報]福島第一原発事故に伴う広域避難における受入側自治体の対応について—二本松市の事例—
- 小松 幸夫(消防科学総合センター)
- B-2-2 [復興]栃木での広域避難者支援と制度の課題—全世帯訪問の取組みから—
- 君嶋 福芳(とちぎ暮らし応援会)
- B-2-3 [復興]福島原発事故 県外避難者の生活実態に関する考察—避難者交流施設「ふりっぷはうす」を事例として—
- 村上 岳志(広域防災・災害対応支援機構 FLIP)
- B-2-4 [復興]放射能物質汚染の心理学—風評被害払拭の方策—
- 関谷 直也(東京大学情報学環総合防災情報研究センター)

C2 [復興] 教育・教訓・継承Ⅰ (C会場 座長：阪本真由美)

- C-2-1 [復興]復興土地区画整理事業地区における居住者像の長期変容プロセス
- 田中 正人(都市調査計画事務所)
 - 小川 知弘(関西学院大学)

桐山 法子(リスクデザイン研究所)
長谷川計二(関西学院大学)

- C-2-2 [復興]被災した地域において震災学習をどのように行うのかー人と防災未来センターの事例よりー
- 阪本真由美(名古屋大学減災連携研究センター)

- C-2-3 [復興]日本災害復興学会・若手人材交流会の実施報告ー実務者と研究者のネットワーク構築をねらいにして
- 佐藤 翔輔(東北大学災害科学国際研究所)
 - 石塚 直樹(みやぎ連携復興センター)
 - 杉安 和也(東北大学災害科学国際研究所)
 - 永松 伸吾(関西大学社会安全学部)

- C-2-4 [復興]「Days-Before」ー災害について語るための新しい視角ー
- 矢守 克也(京都大学防災研究所)
 - 杉山 高志(京都大学大学院情報学研究科)

D2 [情報] システム (D会場 座長：鈴木猛康)

- D-2-1 [情報]災害内容に適した道路交通情報の提供

- 田波 岳彦(日本道路交通情報センター)
- 杉田 正俊(日本道路交通情報センター)
- 福本 紗千(日本道路交通情報センター)
- 五味新一郎(日本道路交通情報センター)

- D-2-2 [情報]LODを用いた防災・災害情報発信システムの提案

- 前田 実優(公立はこだて未来大学大学院 システム情報科学研究科)
- 大場みち子(公立はこだて未来大学教授 システム情報科学部)

- D-2-3 [情報]10月災害廃棄物処理に関する発災前後の情報ニーズの整理と 情報プラットフォームの構築

- 高田 光康(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)
- 森 朋子(廃棄物・3R研究財団)
- 平山 修久(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)
- 多島 良(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)
- 大迫 政浩(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)

- D-2-4 [情報]保護者と学校で相互に安否確認できる学校防災 SNS

- 鈴木 猛康(山梨大学地域防災マネジメント研究センター)
- 秦 康範(山梨大学地域防災マネジメント研究センター)
- 宮本 崇(山梨大学地域防災マネジメント研究センター)

10月25日(土) 12:00~13:30

ポスターセッション前半(責任在籍時間 12:00~12:45)

[復興]

- P-R01 被災地における緊急雇用創出事業はどのような被災者を雇用したのか

- ー大槌町・釜石市・大船渡市における仮設住宅支援員事業を例としてー
- 永松 伸吾(関西大学社会安全学部)

- P-R02 災害遺構を通じた災害伝承ー洞爺湖有珠山ジオパークを例にー

- 定池 祐季(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

- P-R03 非常事態に関わる用語の研究

- 平山 弘(阪南大学流通学部)

- P-R04 新潟県中越地震後の地区・集落の変化とその要因に関するー考察ー「地域」を対象としたアンケート調査から その2ー

- 澤田 雅浩(長岡造形大学)
- 上村 靖司(長岡技術科学大学)
- 田口 太郎(徳島大学)

福留 邦洋(東北工業大学)
稲垣 文彦(中越防災安全推進機構)
長 聡子(新潟工科大学)
宇田 優子(新潟医療福祉大学)
黒木 宏一(新潟工科大学)
宮本 匠(京都大学防災研究所)
阿部 巧(中越防災安全推進機構)
金子 知也(中越防災安全推進機構)
日野 正基(中越防災安全推進機構)
松井 千明(中越防災安全推進機構)
山崎麻里子(中越防災安全推進機構)

P-R05 新潟県中越地震被災地における10年目のコミュニティ復興感—区長、住民を対象としたヒアリング調査から—

- 稲垣 文彦(中越防災安全推進機構)
- 上村 靖司(長岡技術科学大学)
- 宮本 匠(京都大学)

P-R06 新潟県中越地震における転居者の暮らしの再構築に関する考察—災害復興公営住宅を対象として—

- 福留 邦洋(東北工業大学)
- 長 聡子(新潟工科大学)
- 黒木 宏一(新潟工科大学)
- 宇田 優子(新潟医療福祉大学)
- 山崎麻里子(中越防災安全推進機構)

P-R07 人的支援の効果的な活用方法に関する研究—東日本大震災後の都道府県支援計画・受援計画への反映を踏まえて—

- 鉢呂 浩之(明治大学大学院政治経済学研究科)
- 中林 一樹(明治大学大学院政治経済学研究科)

P-R08 大川小学校事故検証に残された課題—事実に向き合い・語り継ぐ重要性—

- 林 衛(富山大学人間発達科学部)

[情報]

P-I01 不確実性を伴う災害情報の表現方法に関する検討—大雪情報を事例として—

- 本間 基寛(京都大学防災研究所)
- 新井 恭子(東洋大学経営学部)
- 松本 健人(日本気象協会メディア・コンシューマ事業部)
- 鈴木 靖(日本気象協会事業本部)

P-I02 災害事例データベースを用いた長野県南木曾町の災害履歴の抽出と災害事例カルテの作成

- 鈴木比奈子(防災科学技術研究所)
- 内山庄一郎(防災科学技術研究所)
- 臼田裕一郎(防災科学技術研究所)
- 堀田 弥生(防災科学技術研究所)
- 田口 仁(防災科学技術研究所)

P-I03 デジタルサイネージを用いた降雨情報伝達のためのデザインの検討—社会実験にともなう街頭調査の分析—
関谷 直也(東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)

- 安本 真也(早稲田大学大学院 政治学研究科)
- 上田 彰(アイシフト)
- 後藤あずみ(日本気象協会)

P-I04 防災実務者を対象とした人材育成講座の構築 ~修了1年後アンケート結果を踏まえて~

- 横幕 早季(静岡大学防災総合センター)
- 牛山 素行(静岡大学防災総合センター)
- 大森 康智(静岡大学防災総合センター)
- 増田 俊明(静岡大学防災総合センター)

- P-I05 阿武山観測所サイエンス・ミュージアム構想とオープン・ラボの取り組み
- 岩堀 卓弥(京都大学防災研究所)
 - 城下 英行(関西大学社会安全学部)
 - 矢守 克也(京都大学防災研究所)
 - 飯尾 能久(京都大学防災研究所)
 - 米田 格(京都大学防災研究所)
 - 平林 英二(阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター)
- P-I06 避難時の心得における挿絵と説明文の対応関係について
- 桑原 健悟(関西大学総合情報学部)
 - 田中 孝治(北陸先端科学技術大学院大学)
 - 池田 満(北陸先端科学技術大学院大学)
 - 堀 雅洋(関西大学総合情報学部)
- P-I07 スマート雨水タンク検証実験の状況について
- 森山 聡之(福岡工業大学社会環境学部)
 - 和泉 信生(崇城大学情報学部)
 - 森下 功至(熊本高等専門学校)
 - 西山 浩司(九州大学大学院工学院環境社会部門)
- P-I08 災害時にも対応可能な再生可能エネルギー発電・蓄電教育システム
- 小熊 博(富山高等専門学校電子情報工学科)
 - 小関 紘明(富山高等専門学校電子情報工学科)
 - 門嶋 祥平(富山高等専門学校電子情報工学科)
 - 運上 和也(富山高等専門学校技術室)
 - 小泉 敦(富山高等専門学校技術室)
 - 浦 恵里夏(富山高等専門学校技術室)
 - 塚田 章(富山高等専門学校電子情報工学科)
 - 水本 巖(富山高等専門学校電子情報工学科)
- P-I09 微弱FM放送と無線メッシュネットワークを連携させた狭域情報配信手法とその運用に関する一提案
- 塚田 晃司(和歌山大学システム工学部)
 - 佐藤 周(和歌山大学経済学部)
 - 古田 誠(和歌山放送編成技術部 兼 IT 戦略室)
- P-I10 超長距離通信技術MAD-SSによる災害情報の伝送
- 矢澤 正人(数理設計研究所)
 - 高橋 広和(数理設計研究所)
 - 後閑 政昭(数理設計研究所)
 - 瀬川 典久(岩手県立大学)
 - 江渡浩一郎(産業技術総合研究所)
- P-I11 自主防災組織リーダーのための図上訓練の一案
- 黒田 洋司(消防科学総合センター研究開発部)
 - 山崎 文徳(消防科学総合センター研究開発部)
 - 西形 國夫(消防科学総合センター研究開発部)
 - 大賀 覺(消防科学総合センター研究開発部)
- P-I12 都市域における social involvement effect の検討ーアーティファクトに着目した津波防災実践ー
- 杉山 高志(京都大学情報学研究科)
 - 近藤 誠司(関西大学社会安全学部)
 - 矢守 克也(京都大学防災研究所)
 - 畑山 満則(京都大学防災研究所)
 - 鈴木 進吾(京都大学防災研究所)
- P-I13 津波防災地域づくり推進計画の策定 ～浜松市の事例～
- 小林 正人(浜松市役所危機管理課)
 - 金子 光夫(建設技術研究所東京本社防災室)

森田 敏徳(建設技術研究所東京本社防災室)
村上 亮(建設技術研究所東京本社防災室)

P-I14 津波避難訓練結果にみられる避難対策の課題—和歌山県印南町切目地区を事例に—

- 照本 清峰(人と防災未来センター)
- 城下 英行(関西大学社会安全学部)

P-I15 「東日本大震災」と都市伝説—被災地における事例調査からの予備的検証—

- 中森 広道(日本大学文理学部社会学科)

ポスターセッション後半(責任在籍時間 12:45~13:30)

[復興]

P-R09 災害仮設住宅の居住性とその改善への取り組み

- 高木 拓也(長岡技術科学大学工学部)
- 木村 悟隆(長岡技術科学大学工学部)
- 長谷川兼一(秋田県立大学システム科学技術学部)
- 石山 智(秋田県立大学システム科学技術学部)
- 渡辺麻衣子(国立医薬品食品衛生研究所)

P-R10 MOBIPO(移動式空間)を利用した震災支援あり方に関する研究—首都直下型地震を想定したケーススタディーを通して—

- 土屋 真(首都大学東京システムデザイン学部)
- 木下仁瑞佳(首都大学東京システムデザイン学部)
- 山下 敏男(首都大学東京システムデザイン学部)
- 金 石振(首都大学東京システムデザイン学部)
- 藤原 敬介(首都大学東京システムデザイン学部)

P-R11 茨城県における自主防災組織の経年比較

- 小林 毅史(明治大学政治経済学研究科)

P-R12 住民主体の災害復興における地域生活改善プロセス評価手法の試み—新潟県長岡市川口木沢の事例から—

- 宮本 匠(京都大学防災研究所)
- 草郷 孝好(関西大学社会学部)

P-R13 中越地震を契機に発足した学生ボランティアサークルの継続性に関する考察

- 澁江 嘉輝(長岡技術科学大学工学部(VOLT of NUTS 代表))
- 上村 靖司(長岡技術科学大学 機械系)

P-R14 東日本大震災からの復興のための祭事の役割と記憶の場の創生について

- 木下仁瑞佳(首都大学東京大学院)
- 笠松 慶子(首都大学東京大学院)

P-R15 福島第一原発事故における損害賠償問題

- 丸井 和彦(関西大学社会安全学部)
- 永松 伸吾(関西大学社会安全学部)

P-R16 市町村合併を踏まえた基礎自治体における防災施策の展開状況と
自律的な地域防災体制の構築に向けた検討

- 久島 祐介(明治大学大学院)
- 中林 一樹(明治大学大学院)

P-R17 「Days-Before」の視点を中心とした被災遺族の語りの分析—阪神淡路大震災の遺族の語りを例に—

- 杉山 高志(京都大学大学院情報学研究科)
- 矢守 克也(京都大学防災研究所)

[情報]

- P-I16 洪水時の住民避難特性に関する国際比較分析
及川 康(東洋大学理工学部)
Keerati SRIPRAMAI(Bangkok Fire and Rescue Department)
○ 石井 雄輔(東洋大学大学院理工学研究科)
片田 敏孝(群馬大学大学院 理工学府)
- P-I17 地域主体の防災体制の必要性
○ 作間 敦(環境防災総合政策研究機構環境・防災研究所)
松尾 一郎(環境防災総合政策研究機構環境・防災研究所)
- P-I18 大阪湾圏域下における福祉避難所の南海トラフ巨大地震津波に対する安全性の検証
○ 宇野 宏司(神戸市立工業高等専門学校)
中野 晋(徳島大学環境防災研究センター)
金井 純子(徳島大学環境防災研究センター)
- P-I19 2011年東北地方太平洋沖地震津波の石巻市門脇地区における避難者発生シミュレーション
○ 土肥 裕史(京都大学大学院工学研究科)
奥村与志弘(京都大学大学院地球環境学学堂)
小山 真紀(京都大学大学院医学研究科)
清野 純史(京都大学大学院地球環境学学堂)
- P-I20 3.11をめぐるとの関心事の違い-地域別比較の観点から
○ 標葉 隆馬(総合研究大学院大学先端科学研究科)
田中 幹人(早稲田大学大学院政治研究学術院)
八木 絵香(大阪大学コミュニケーションデザインセンター)
- P-I21 地域とともに考え、行動する防災・減災報道の取り組み
ワークショップ「むすび塾」と「カケアガレ！日本」
○ 須藤 宣毅(河北新報社報道部)
村上 俊(河北新報社報道部)
亀山 貴裕(河北新報社報道部)
- P-I22 ジオパーク活動で自然災害を可視化する
○ 中川 和之(静岡大学防災総合センター)
- P-I23 気象予報と連動した動的ジオフェンスとジオ・ナビゲーションの検討
—住民の安心・安全を実現する先進的な気象情報サービス Halex Dream の紹介—
越智 正昭(ハレックス)
北村 和彦(ハレックス)
福澤 好章(ハレックス)
○ 須東 博樹(ハレックス)
- P-I24 津波危険地帯標識の設置事例を見る(2)
—北海道胆振・日高地方の現況—
○ 宇井 忠英(環境防災総合政策研究機構)
- P-I25 自治体における保健福祉分野も含めた災害時の情報共有基盤構築の取り組みについて
○ 坂東 淳(徳島大学大学院先端科学技術教育部)
- P-I26 震災3年 遺族500人アンケートの取り組み～心の復興と津波への意識の変化～
○ 斎藤 孟(岩手日報社報道部)
磯崎 真澄(岩手日報社報道部)
- P-I27 視覚障害者に洪水ハザードマップデータを提供する電子書籍データの試作
○ 宇田川真之(ひょうご震災記念 21世紀研究機構)

- P-128 自治体の災害対応における人的リソースの配置検討に関する基礎的研究-災害対応業務の簡易検討モデルの構築を通じて-
- 崔 青林(科学技術研究所)
 - 李 泰榮(科学技術研究所)
 - 田口 仁(科学技術研究所)
 - 臼田裕一郎(科学技術研究所)
- P-129 災害対応管理システム用スマートフォン・アプリの開発
- 鈴木 猛康(山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)

10月25日(土) 13:30~17:00

公開シンポジウム(アリーナ)

シンポジウムⅠ中越大震災と復興情報—震災時における情報伝達の重要性(13:35~)

パネリスト

- 泉田 裕彦(新潟県知事)
- 長島 忠美(衆議院議員)
- 田中 淳(東京大学大学院教授/日本災害情報学会・副会長)

コーディネーター

- 山崎 登(NHK 解説主幹/日本災害情報学会・副会長)

シンポジウムⅡ中越から東日本大震災へ—持続可能な復興を目指して(15:05~)

パネリスト

- 森 民夫(長岡市長)
- 中林 一樹(明治大学大学院教授/日本災害復興学会・会長)
- 木村 拓郎(減災・復興支援機構/日本災害情報学会・理事)

コーディネーター

- 渡辺 隆(新潟日报社・専務取締役)

10月25日(土) 18:00~20:00

交流会

10月26日(日) 9:00~10:15

A3 [情報] 気象・水害(1)(A会場 座長:大原美保)

- A-3-1 [情報]大雨災害に関する避難行動意識調査(三重県紀宝町)
- 草野富二雄(津地方気象台)
 - 横田 崇(東京管区気象台)
 - 松尾 一郎(CeMI 環境・防災研究所)
 - 新元 明生(紀宝町)
 - 赤石 一英(気象庁地震火山部)
- A-3-2 [情報]大規模水害時の広域避難誘導方策のあり方に関する研究
- 児玉 真(IDA社会技術研究所)
 - 桑沢 敬行(IDA社会技術研究所)
 - 片田 敏孝(群馬大学大学院理工学府)
 - 澁谷 慎一(国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所)
 - 村田 智孝(国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所)
- A-3-3 [情報]特別警報の評価と課題——自治体悉皆調査および住民調査より——
- 安本 真也(早稲田大学大学院政治学研究所)
 - 関谷 直也(東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)

- A-3-4 [情報]豪雨時の災害情報リーチ率の把握 —2013年9月名古屋市内での事例—
○ 大原 美保(土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター)

C3 [情報] 教育・教訓・継承 (2) (C会場 座長: 金井昌信)

- C-3-1 [情報]「クロスロード:大洗編」の作成を通じた被災地住民とマスメディアの
関係性の再構築
○ 李 勇昕(京都大学大学院情報学研究科)
宮本 匠(京都大学防災研究所特任研究員)
矢守 克也(京都大学防災研究所教授)
- C-3-2 [情報]地域気象情報の実装と連携した防災気象情報のレベル化学習ツール「セルフウェザーゲーム」の開発
○ 竹之内健介(京都大学大学院情報学研究科)
河田 慈人(京都大学大学院情報学研究科)
中西 千尋(京都大学大学院情報学研究科)
矢守 克也(京都大学防災研究所)
藤原 宏之(伊勢市危機管理部危機管理課)
林 裕一郎(伊勢市危機管理部危機管理課)
- C-3-3 [情報]小学校の教科書における防災学習内容の量的分析
○ 岡田 夏美(関西大学大学院社会安全研究科)
河田 恵昭(関西大学社会安全研究センター長)
- C-3-4 [情報]東日本大震災以後の学校防災教育の現状—効果と課題—
片田 敏孝(群馬大学大学院理工学部 広域首都圏防災研究センター)
○ 金井 昌信(群馬大学大学院理工学部 広域首都圏防災研究センター)

D3 [情報] 調査・統計・解析 (D会場 座長: 矢守克也)

- D-3-1 [情報]ベイズ推定を用いた災害時の被災者数予測
○ 小谷 稔(神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻)
飯塚 敦(神戸大学都市安全研究センター)
河井 克之(神戸大学都市安全研究センター)
- D-3-2 [情報]都市部における落雷により生じる電磁界伝搬特性の GPU クラスタを用いた MW-FDTD 法による超高速解析
○ 園田 潤(国立高等専門学校機構仙台高等専門学校知能エレクトロニクス工学科)
本間 規泰(東北電力 研究開発センター)
- D-3-3 [情報]シャノンの情報理論による災害 triage 現場の平均情報量
○ 安心院康彦(帝京大学医学部救急医学講座)
廣江 貴則(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻)
佐々木 勝(東京都立広尾病院)
吉田 昌宏(帝京大学医学部救急医学講座)
嶽間澤昌泰(帝京大学医学部救急医学講座)
内田 靖之(帝京大学医学部救急医学講座)
坂本 哲也(帝京大学医学部救急医学講座)
- D-3-4 [情報]災害に関するサーベイデータを深読みする
○ 矢守 克也(京都大学防災研究所)

10月26日(日) 10:30~11:45

A4 [情報] 地域防災 (1) (A会場 座長: 永松伸吾)

- A-4-1 [情報]市民を動かす「わかりやすい緊急放送」を求めて—津市同報系防災行政無線放送における取り組み 中間報告— 長谷川
哲也(津市)
○ 尾畑 功(国土交通省)
金野 慎(環境防災総合政策研究機構)

半井 小絵(気象予報士)

- A-4-2 [情報]開発途上国における早期警報システムに関する分析—インドネシア・ケルット火山を事例に—
- 地引 泰人(東北大学災害科学国際研究所)
 - 関谷 直也(東京大学大学院情報学環附属総合防災情報研究センター)
 - 田中 淳(東京大学大学院情報学環附属総合防災情報研究センター)
- A-4-3 [情報]地域「防災ネットワーク」の多機関連携に関する研究—全国自治体調査から見た現状と課題—
- 宮脇 健(日本大学法学部)
 - 山下 博之(日本防火・危機管理促進協会)
 - 福田 充(日本大学法学部)
- A-4-4 [情報]サンフランシスコ市 NEN のレジリエンス向上に向けた取り組み
- 永松 伸吾(関西大学社会安全学部)

C4 [情報] 教育・教訓・継承 (3) (C会場 座長：定池祐季)

- C-4-1 [情報]災害教訓を活用した防災・減災支援システムの研究開発
- 倉田 和己(名古屋大学減災連携研究センター)
 - 曽根 好徳(名古屋大学減災連携研究センター)
- C-4-2 [情報]被災地の震災伝承における AR 技術活用の取り組み—石巻市における「防災まちあるき」実践事例—
- 中川 政治(みらいサポート石巻)
 - 尾形 和昭(コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会)
 - 宇田川真之(ひょうご震災記念 21 世紀研究機構)
 - 阪本真由美(名古屋大学減災連携研究センター)
 - 佐藤 翔輔(東北大学災害科学国際研究所)
 - 山崎麻里子(中越防災安全推進機構 長岡震災アーカイブセンター)
- C-4-3 [情報]津波防災における個別事例研究の意義
- 孫 英英(京都大学情報学研究科)
 - 矢守 克也(京都大学防災研究所)
 - 谷澤 亮也(京都大学情報学研究科)
- C-4-4 [情報]過去の災害事例のオープンデータ化の試み〜「1964 年新潟地震オープンデータ」の開設〜
- 田口 仁(防災科学技術研究所 自然災害情報室)
 - 内山庄一郎(防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 災害リスク研究ユニット)
 - 鈴木比奈子(防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 災害リスク研究ユニット)
 - 臼田裕一郎(防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 災害リスク研究ユニット)

D4 [情報] 津波・地震 (1) (D会場 座長：及川康)

- D-4-1 [情報]津波避難計画における実行可能性の検討
- 中居 楓子(京都大学大学院情報学研究科)
 - 畑山 満則(京都大学防災研究所)
 - 矢守 克也(京都大学防災研究所)
- D-4-2 [情報]兵庫県赤穂市津波避難・情報伝達訓練前後に実施する防災講座の効果
- 萬代由希子(関西福祉大学社会福祉学部)
- D-4-3 [情報]津波避難場所の誘導効果とそれを踏まえた設置場所のあり方に関する研究
- 桑沢 敬行(群馬大学大学院理工学府広域首都圏防災研究センター)
 - 細井 教平(群馬大学大学院理工学府広域首都圏防災研究センター)
 - 片田 敏孝(群馬大学大学院理工学府)

D-4-4 [情報]定性的表現による津波情報の効果に関する検証

- 及川 康(東洋大学理工学部)
- 片田 敏孝(群馬大学大学院理工学部)

10月26日(日)12:30~13:20

[情報] 総会 (A会場)

10月26日(日)13:20~13:40

[情報] 廣井賞表彰式 (A会場)

10月26日(日)13:40~14:00

[情報] 阿部賞、河田賞表彰式 (A会場)

10月26日(日)14:15~15:45

A5 [情報] 気象・水害(2)(A会場 座長:牛山素行)

A-5-1 [情報]記録的短時間大雨情報と災害との関係について

- 向井 利明(気象庁名古屋地方気象台)
- 牛山 素行(静岡大学防災総合センター)

A-5-2 [情報]土砂災害に対する避難勧告等の実用的な基準の検討

- 塩崎 竜哉(多治見市役所企画防災課)
- 牛山 素行(静岡大学防災総合センター)

A-5-3 [情報]水害時の住民向け防災広報に関するアンケート調査(2)

- 河関 大祐(消防研究センター)
- 高梨 健一(消防研究センター)
- 遠藤 真(消防研究センター)
- 座間 信作(横浜国立大学)

A-5-4 [情報]タイムライン(事前防災行動計画)で命を守る

- 松尾 一郎(CeMI 環境・防災研究所)
- 新元 明夫(紀宝町総務課)
- 井上 智夫(国土交通省水管理国土保全局)
- 加村 邦茂(CeMI 環境・防災研究所)
- 作間 敦(CeMI 環境・防災研究所)

A-5-5 [情報]防災気象情報に対する市町村防災担当者の認識

- 牛山 素行(静岡大学防災総合センター)
- 塩崎 竜哉(多治見市役所 企画防災課)
- 杉村 晃一(静岡市役所 上下水道局)

C5 [情報] 教育・教訓・継承(4)(C会場 座長:秦康範)

C-5-1 [情報]震災アーカイブコンテンツの英語化と震災学習の両立をねらいにしたワークショップ手法の設計と試行

- 佐藤 翔輔(東北大学災害科学国際研究所)
- Elizabeth MALY(東北大学災害科学国際研究所)
- 櫻井 敬佑(東北大学農学部)
- 日置 友智(東北大学理学部)
- Leo J. CHE(東北大学農学部)

柴山 明寛(東北大学災害科学国際研究所)
今村 文彦(東北大学災害科学国際研究所)

- C-5-2 [情報]「安否確認の備え」に向けたリテラシー啓発の取り組み
- 篠崎 俊哉(NTTドコモ モバイル社会研究所)
 - 栗原 一浩(NTTドコモ モバイル社会研究所)
- C-5-3 [情報]被災イメージの醸成による災害対策促進を目的とした安否確認疑似体験ソールの開発
- 小山 真紀(京都大学大学院医学研究科)
 - 横枕 直人(KDDI)
 - 清野 純史(京都大学大学院地球環境学堂)
- C-5-4 [情報]防災用品への直接接触の効果:解釈レベル理論と二重過程理論に基づく実証的研究
- 中谷内一也(同志社大学心理学部)
 - 尾崎 拓(同志社大学大学院心理学研究科)
- C-5-5 [情報]緊急地震速報システムを活用した「自ら考える」防災訓練
- 秦 康範(山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)

D5 [情報]津波・地震(2)(D会場 座長:鷹野澄)

- D-5-1 [情報]南海トラフ沿岸住民調査にみる避難意図の規定要因
- 田中 淳(東京大学大学院情報学環)
 - 宇田川真之(ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター研究部)
 - 三船 恒裕(高知工科大学)
 - 磯打千雅子(香川大学危機管理研究センター)
 - 地引 泰人(東北大学災害科学国際研究所)
 - 黄 欣悦(東京大学大学院情報学環)
- D-5-2 [情報]大規模津波を想定した道路管理に関する検討
- 長屋 和宏(国土交通省国土技術政策総合研究所 防災・メンテナンス基盤研究センター国土防災研究室)
 - 金子 正洋(土木研究所)
 - 片岡正次郎(国土交通省国土技術政策総合研究所 防災・メンテナンス基盤研究センター国土防災研究室)
 - 松本 幸司(国土交通省国土技術政策総合研究所 防災・メンテナンス基盤研究センター国土防災研究室)
- D-5-3 [情報]東京オリンピックと首都圏直下地震
- 伯野 元彦(東京大学名誉教授 地震研究所)
- D-5-4 [情報]長周期地震動に関するアンケート調査結果
- 浦谷 純平(気象庁地震火山部地震津波監視課)
 - 赤石 一英(気象庁地震火山部管理課地震津波防災対策室)
 - 青木 重樹(気象庁地震火山部地震津波監視課)
 - 久保 剛太(気象庁地震火山部地震津波監視課)
 - 小上 慶恵(気象庁地震火山部地震津波監視課)
 - 中村 雅基(気象庁地震火山部地震津波監視課)
 - 相澤 幸治(気象庁地震火山部管理課)
 - 崎原 裕和(沖縄気象台地震火山課)
- D-5-5 [情報]最大値警報から平均値警報へ:緊急地震速報の警報基準改善の提案
- 鷹野 澄(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

10月26日(日) 16:00~17:30

A6 [情報]地域防災(2)(A会場 座長:鍵屋一)

- A-6-1 [情報]災害時の地方議会・議員の役割についての基本的考察
 - 鍵屋 一(板橋区議会事務局)
- A-6-2 [情報]気象防災アナリストによる自治体の防災活動支援(気象予報士による防災専門人材の検討)
 - 越智 正昭(ハレックス)
 - 北村 和彦(ハレックス)
 - 清水 明德(ハレックス)
- A-6-3 [情報]地域防災訓練における聴覚障害者への筆記と掲示の有効性と課題
 - 北村 弥生(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
- A-6-4 [情報]タブによる業務階層及びメニューによる処理手順を示した自治体災害対応システムの提案
 - 伊勢 正(防災科学技術研究所)
 - 磯野 猛(防災科学技術研究所)
 - 田口 仁(防災科学技術研究所)
 - 臼田裕一郎(防災科学技術研究所)
 - 藤原 広行(防災科学技術研究所)
 - 長坂 俊成(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科)
- A-6-5 [情報]民間団体による被災者支援情報管理に関する研究—アメリカの支援情報統合システム(CAN)より—
 - 阪本真由美(名古屋大学減災連携研究センター)

C6 [情報]教育・教訓・継承(5)(C会場 座長:近藤誠司)

- C-6-1 [情報]高校生の防災意識(2013年伊豆大島土砂災害を事例に)
 - 中谷 剛(防災科学技術研究所)
 - 高橋 尚也(防災科学技術研究所)
 - 磯 敦雄(東京消防庁)
- C-6-2 [情報]世代を超えて災害教訓を伝える効果的伝承方法の考察
 - 木戸 崇之(人と防災未来センター)
- C-6-3 [情報]名古屋市内にある慰霊碑・慰霊堂が伝える関東大震災
 - 武村 雅之(名古屋大学減災連携研究センター)
- C-6-4 [情報]東北地方太平洋沖地震後の被災地での情報ニーズと大学から情報発信
 - 久利 美和(東北大学災害科学国際研究所)
- C-6-5 [情報]災害報道従事者が直面するジレンマ —災害報道版クロスロードの作成—
 - 近藤 誠司(関西大学社会安全学部)

D6 [情報]衛星・通信・地理情報(D会場 座長:横田崇)

- D-6-1 [情報]一般向けハザード情報としての確率論的地震動予測地図
 - 瀧 一起(東京大学地震研究所)
 - 翠川 三郎(東京工業大学総合理工学研究科)
 - 矢守 克也(京都大学防災研究所)
 - 大木 聖子(慶應義塾大学環境情報学部)
 - 藤原 広行(防災科学技術研究所)
 - 大島 光貴(文部科学省研究開発局地震・防災研究課)
 - 強震動評価部会
 - 地震動予測地図高度化ワーキンググループ
- D-6-2 [情報]小型UAVによる災害時情報収集とその課題 2014年7月フィリピン・グレンダ台風被害の例
 - 井上 公(防災科学技術研究所 災害リスク研究ユニット)

内山庄一郎(防災科学技術研究所 災害リスク研究ユニット)
Bartolome C. Bautista(フィリピン火山地震研究所)
Johnlery P. Deximo(フィリピン火山地震研究所)

- D-6-3 [情報]GIS 連携アプリケーションの作成による南海トラフ巨大地震の医療機関の被害想定作成およびDMATIによる急性期医療対応計画策定
- 岡垣 篤彦(国立病院機構大阪医療センター)
 - 定光 大海(国立病院機構大阪医療センター)
- D-6-4 [情報]災害時にも有効なマルチモード SDR VSAT の開発:宮城県山元町における実証実験
- 小熊 博(富山高等専門学校電子情報工学科)
 - 亀田 卓(東北大学電気通信研究所)
 - 笹沼 満(スカパーJSAT)
 - 江口 茂(アイ・エス・ビー)
 - 黒田 幸明(サイバー創研)
 - 末松 憲治(東北大学電気通信研究所)
- D-6-5 [情報]災害発生時に「準天頂衛星システム」が果たすメッセージサービスの紹介
- 神藤 英俊(日本電気 準天頂衛星利用推進室)